

宮崎県気候変動適応センター通信 第28号

「ひなたには、もういられない!?」 未来47景で地元の未来の姿を見てみよう!

今や「気候危機」と呼ばれる地球温暖化。その影響は気温上昇だけでなく、豪雨の増加や台風の強大化、生態系の変化、農作物の品質低下、熱中症患者の増加など私たちの日々の生活にも様々な影響を及ぼしています。

気候危機の影響が、私たちの大切な地元にも及ぶ可能性があることを知ってもらうため、世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン)は、47都道府県の今世紀末の未来が見られる特設Webサイト「**未来47景**」を公開しています。このサイトでは、都道府県名を入力すると、その地域の未来の気候危機をイメージさせるイラストと解説が表示され、一人ひとりにできる具体的な行動を知ることができます。



NO.45
宮崎県

ひなたには、もういられない!?

気候危機が進むと、宮崎県の平均気温は今世紀末までに約3.5℃上昇、35℃を超える猛暑日も30日以上になると予測されています。「日本のひなた」とも呼ばれる宮崎県。このままでは、全国屈指の産出額を誇る様々な農産物の生育にも影響が出かねません。未来の「ひなた」に暗い影が落ちないために、できることから取り組みたいものです。

[もっと知る>](#)

このほか、例えば東京都では、東京スカイツリーが強大化する台風による洪水で水に浸かってしまったり、沖縄県では、気温上昇によりサンゴが消失してしまったりと、都道府県別で起こりうる気候危機を描いています。



未来47景で地元の未来の姿を確認し、私たちの地元の風景や文化を未来につないでいくため、今できることをすぐに行動してみませんか。

未来47景 <https://www.wwf.or.jp/campaign/mirai47kei/>

宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin@pref.miyazaki.lg.jp